平成３０年７月３１日

会員各位

一般社団法人　島根県薬剤師会

「健康サポート薬局」研修実施責任者

　常務理事　小椋　邦夫

**「健康サポート薬局のための多職種連携研修（研修会A）」及び**

**「健康サポートのための薬剤師の対応研修会（研修会B）」**

**開催・受講者募集のご案内**

　平成２８年４月１日に施行された「健康サポート薬局」については、平成２８年１０月１日から、都道府県知事への届出が開始されました。

　薬局は、「健康サポート薬局」である旨の表示を行うにあたり、厚生労働省が定める基準で規定される「常駐する薬剤師の資質に係る所定の研修」を修了した薬剤師が常駐する必要があり、届出にあたっては所定の研修終了証の提出が必要とされています。

　昨年より日本薬剤師会・日本薬剤師会研修センターの両団体が合同で当該研修を実施しており、本会はその協力機関として「技能習得型研修」を開催しています。本年度も下記の研修会A及び研修会Bを同日に開催することといたしました。

　受講を希望される方は下記によりお申込みください。

記

１．研修会名　：健康サポートのための多職種連携研修　（研修会A）　定員　30　名

　　　　　　　　健康サポートのための薬剤師の対応研修（研修会B）　定員　30　名

　　　　　　　　（主催：島根県薬剤師会・共催：日本薬剤師会）

２．開催日時　：平成３０年１０月２１日（日）９：００～１８：１５

３．場　　所　：益田市立保健センター　３F大ホール　【益田駅前ビルEAGA ３F 】

４．内　　容　：別紙のとおり

５．受講料　：研修会A，研修会B　各5,000円（但し当会会員は　2,000円）※昼食代込み

　　　　　　　　※研修会当日、受付にてお支払いください。

６．申込方法　：別紙受講申込書（県薬ホームページからダウンロード可）にご記入の上、

**８月３１日（金）までにFAXにて**島根県薬剤師会事務局へお申し込み下さい。

　送付先：島根県薬剤師会事務局　**FAX：0852-26-5358**

７．その他　：受講が決定された方には、９月中旬に受講票をFAXで送付いたします。

　　　　　　　　※希望者が8名以下で開催が出来ない場合は追ってご連絡いたします。

■受講対象者

健康サポート薬局の意義や諸規定を理解し、健康サポート薬局として地域住民の健康の保持増進に貢献する意欲のある薬剤師を対象とします。

　研修の修了要件には、薬剤師として薬局での５年の実務経験が必要であることから、今回の研修会は、**既に薬局での５年の実務経験を有する方**を優先的に受け付けます。

■受講証明書、研修修了証について

　技能習得型研修（集合研修）を受講された方には、各研修会について「受講証明書」を島根県薬剤師会から発行いたします。ｅ-ラーニングについては、22時間分の教材の受講を完了した方に、e-ラーニング研修の受講証明書が日本薬剤師会から発行されます。研修会A・B、ｅ-ラーニング、合計３つの「受講証明書」を取得され、かつ５年以上の薬局での実務経験を有する方には、研修実施機関である日本薬剤師会・日本薬剤師会研修センターから「研修修了証」が発行されます。（発行には申請が必要です。手続き方法と申請料については日本薬剤師会ホームページに掲載されています。）

　「健康サポート薬局」の届出を行う際には、修了証を他の必要書類とあわせて届出先に提出して下さい。

■備考

　・当日受付はいたしませんので、申込締切日は「厳守」して下さい。

　・受講は時間厳守です。（**遅刻、早退すると「受講証明書」は交付いたしません。**）

　・本研修は個人に係る資格のため、**代理出席はできません。**

　・当日、理解度確認のためレポートを作成いただきます。**筆記用具をご持参ください。**

　・昼食は、研修会Ａ・Ｂ両方受講の方のみ準備いたします。

　・車でお越しの方は益田駅前ビル立体駐車場（駐車台数198台）をご利用ください。

■研修会の内容

〇健康サポートのための多職種連携研修（研修会A）

（1）基本理念（40分）

①健康サポートの基本理念（日薬DVD）（20分）

②健康サポート薬局の理念

地域包括ケアに対応した薬局・薬剤師（20分）

（2）当該地域の医療・保健・介護・福祉等の資源と役割の現状（80分）

①当県における健康課題と健康増進施策、健康サポート薬局への期待（30分）

②健康づくりの取り組み（40分）

③当該地域の医療・保険・健康・介護・福祉等の資源について（10分）

（3）演習（120分）

①アイスブレイク 15分 「健康サポート薬局」とは

②ケーススタディ 80分 ・グループ討議50分 ・発表30分

③演習のまとめ 20分　④県薬まとめ　5分

　〇健康サポートのための薬剤師の対応研修（研修会B）

(1)薬局・薬剤師を巡る現状と健康サポート薬局（県薬役員）（20分）

薬剤師を取り巻く地域医療・地域保健等の現状、健康サポート薬局の理念、本研修の目的・達成目標等について、県薬役員から説明

(2)薬局利用者の状態把握と対応（DVD＋進行役）チャプター1～16　（245分）

　　 日本薬剤師会・日本薬剤師研修センターが合同で取り組んできた「薬剤師の臨床判断と一般用医薬品適正使用研修事業」のノウハウを活用し、当該研修会の収録DVDを用いて実施

1導入講義

2来局者対応ロールプレイ　2症例

3作業①　症候からの症患の列挙

4講義（臨床判断、アルゴリズム、トリアージ他）

5作業②　症状を訴える症患と症状の特徴の列挙

6講義（症状を呈する疾患概要）

7作業③　疾患を推測するためのアルゴリズム作成

8講義（アルゴリズム例の解説）

9作業④　トリアージプランの作成

10仕上げのロールプレイ（若干の作業を含む）

11作業⑤　参加者同士のロールプレイ

12まとめ

(3)まとめ（県薬役員）（5分）

　　　冒頭の講義及び演習を踏まえて、まとめ（健康サポート薬局の役割の再確認、地域での生かし方など）